

新オプション

アルコール感受性遺伝子検査のご案内

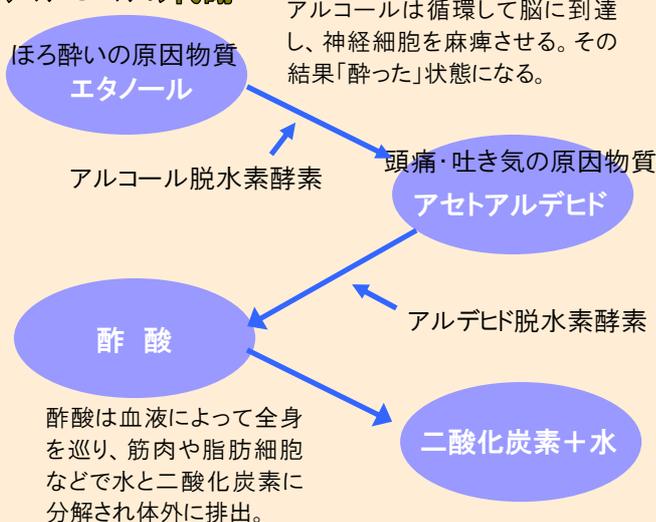
遺伝子体質を知って「飲酒による健康障害のリスクを回避」

アルコール感受性遺伝子検査は、ただ単にお酒が強い（飲める）・弱い（飲めない）を調べるだけの検査ではありません。「遺伝子的にどんな体質なのか?」「飲酒によって、将来健康にどんな影響がでやすいのか?」を分析します。早期にご自身の「遺伝子体質」を知り、「適量飲酒」をこころがけることで、「**飲酒による健康障害のリスクを回避**」することが大切です。

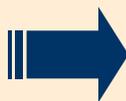
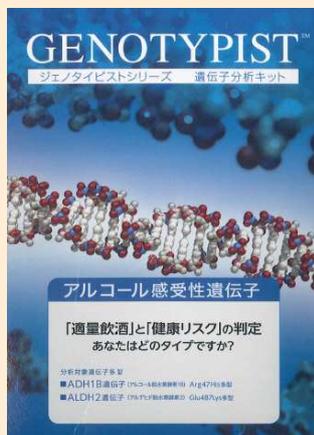
体内に取り込まれたアルコールは、まずアルコール脱水素酵素(ADH1B)によりアセトアルデヒドに分解され、次いでアセトアルデヒド脱水素酵素(ALDH2)によって酢酸、最終的に水と二酸化炭素になって体外へ排出される仕組みになっています。これら酵素の働きの強弱は遺伝子のタイプに左右され、酒に強いか弱いかを決めています。

ADH1Bの働きが弱い人は、アルコールを分解するのが遅いためアルコールが体に残りやすく、アルコール依存症になりやすいです。またALDH2の働きが弱い人はアセトアルデヒドの分解が遅く、飲酒で顔が赤くなり、動悸が早くなったり、気持ちが悪くなり、二日酔いを起こしやすいです。

アルコールの代謝



2つのアルコール感受性遺伝子を調べて、アルコール体質を9のタイプに分類



タイプ	ALDH2*1/*1 (W) (低活性型)	ALDH2*1/*2 (R) (低活性型)	ALDH2*2/*2 (RR) (非活性型)
ADH1B *1/*1 (1) (低活性型)	依存症リスクが最も高い 大酒飲みタイプ Geno Type Card W1型 2.8%	飲酒による健康リスクが最も高いタイプ Geno Type Card R1型 1.8%	お酒を受けつけない 完全下戸タイプ Geno Type Card RR1型 0.3%
ADH1B *1/*2 (2) (活性型)	つい飲み過ぎてしまう 大酒飲みタイプ Geno Type Card W2型 16.0%	飲酒による健康リスクが高いタイプ Geno Type Card R2型 14.4%	お酒を受けつけない 完全下戸タイプ Geno Type Card RR2型 3.3%
ADH1B *2/*2 (3) (高活性型)	つい飲み過ぎてしまう 大酒飲みタイプ Geno Type Card W3型 30.8%	飲酒による健康リスクが高いタイプ Geno Type Card R3型 24.7%	お酒を受けつけない 完全下戸タイプ Geno Type Card RR3型 5.9%

『食事バランス診断』が無料で付いています

検査料金 5,000円(税別)

【申込み・お問合せ】



溪仁会円山クリニック 顧客管理課 ☎ 011-611-7766
札幌市中央区大通26丁目3番16号

